住民説明会　資料

多可町生涯学習まちづくりプラザ
建設基本計画（案）

多可町図書館基本計画（案）

令和４年６月25日　加美コミュニティプラザ
６月26日　八千代コミュニティプラザ
６月27日　中コミュニティプラザ

多可町生涯学習まちづくりプラザ
建設基本計画（案）

令和４年５月

多可町　生涯学習課

1．はじめに

1

計画策定に至る背景

（第２次多可町総合計画）

- 基本理念「天たかく　元気ひろがる　美しいまち　多可」
- 基本姿勢「私たちのまちは　私たち一人ひとりが創る」

（第２次多可町生涯学習推進基本計画）

- 急激な高齢化、人口減少社会を迎える中で持続可能な町をつくるためには、町民一人ひとりが社会的に包摂されるとともに、次世代のまちを担うひとづくり・まちづくりをみんなで目指し、新しい公共を支える原動力となる生涯学習体制の整備を図る必要があります。

（仮称）多可町生涯学習センター

中コミュニティプラザと多可町図書館の機能を併せ持つ施設

2．建設の必要性と位置付け

2

新町建設計画（平成17年度～令和7年度）

・施策：「生涯学習の充実」
・事業：生涯学習振興事業（拠点整備事業）

総合計画

・生涯学習を通してあらゆる世代が互いに学びあい、教え合い、人がつながるまちをつくります。
・生涯学習の拠点となる施設を整備し、（略）学習情報の発信や活動場所の確保・学習機会の提供に努めます。
・多様な主体が連携・協力し、学んだ知識・技術・経験等を地域に循環できるしくみをつくります。

アンケート調査

・「社会教育施設の機能の充実を図る」が最も多い結果となっています。

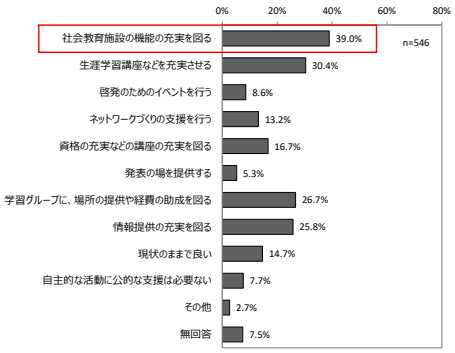
現状と課題の克服

・中コミュニティプラザ
・多可町図書館

その他

・「子育てするならダントツ多可町」
・「敬老の日発祥のまち多可町」

問：あなたは、多可町の行政機関が生涯学習を支援するために、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか。３つまで○印をつけてください。



生涯学習に関する町民アンケート調査

調査対象	町内在住の18歳以上の町民1,200人（令和3年7月現在）
調査期間	令和3年7月21日～8月3日
回 答 数	546人（用紙回答：442人・ネット回答：104人）
回 答 率	45.5%

３．検討委員会での検討経過①

3

平成25年度　(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会

↓

平成25年10月　(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画（提言書）

↓

- 役場本庁舎と建設時期が重なり、財政的に無理があるとの判断から、建設は見送りに。
- 役場本庁舎が完成、生涯学習推進計画が策定。

↓

- 令和３年度から改めて生涯学習センターの建設に取り組むことに。

↓

令和３年度　(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会

３．検討委員会での検討経過②

4

第１回検討委員会

令和３年６月８日（火）
多可町役場

第２回検討委員会

令和３年７月１日（水）
中コミュニティプラザ

高校生とのワークショップ

令和３年７月30日（金）
多可高校　多目的ホール

中学生ワークショップ

令和３年７月３１日（土）
加美中学校　かみingホール

第３回検討委員会

令和３年８月６日（金）
加美コミュニティプラザ

第４回検討委員会

令和３年９月２５日（土）
多可町役場

３．検討委員会での検討経過③

5

第５回検討委員会

令和３年１０月３日（水）
八千代コミュニティプラザ

第６回検討委員会

令和３年１０月２８日（木）
多可町図書館

第７回検討委員会

令和３年１１月２４日（水）
多可町役場

第８回検討委員会

令和３年１２月２日（木）
多可町役場

(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画　答申書

提案内容
・生涯学習を通じたまちづくりの拠点施設
　「多可町生涯学習まちづくりプラザ」への名称変更
・住民が運営に主体的に参加できる体制づくり

多可町生涯学習まちづくりプラザ
建設基本計画

４．本計画と他計画との関係

6

- 「総合計画」「総合戦略」「教育ビジョン」「生涯学習推進計画」との整合性を図っています。
- 「多可町図書館基本計画」と並行して策定しています。

第２次多可町生涯学習推進基本計画

第２次多可町総合計画

第２次多可町総合戦略

第２次多可町教育ビジョン

多可町生涯学習まちづくりプラザ
建設基本計画

多可町図書館基本計画

5．中コミュニティプラザ・多可町図書館を取り巻く現状と課題

7

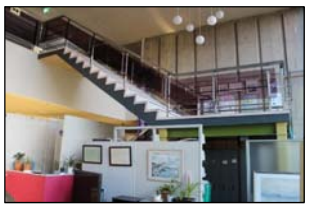
- 中コミュニティプラザと多可町図書館の現状と課題を下記に示します。

	中コミュニティプラザ	多可町図書館
建設	• 昭和48年（旧中町中央公民館）	• 昭和54年（平成16年に改修・開館）
経過	• 平成９年：町教育委員会事務所 多目的トイレ設置等の改修 • 平成28～30年度：役場仮庁舎 • 令和元年度：中コミュニティプラザに 名称を改める	• 本の貸し出しを目的として開館
課題	• 雨漏りや建物躯体の劣化が顕著 • 耐震安全性が低く、耐震補強が必要 （建物寿命自体は伸ばせない） • 未バリアフリー化 （エレベーター未設置） • ホールの音響が悪い • 会議室間の音漏れ • 換気性能が不十分 • 駐車場に出入りしにくい、 駐車スペースが手狭	• 生活動線上から離れている • 面積が狭く、必要蔵書数を満たしていないにも関わらず、蔵書が収納しきれない • 閲覧席、談話コーナー等が不足 • 天井が低く、話し声が館内に広がる。 • トイレのドアや風除室が設置できず、臭いや室内温度の問題が発生 • 近年では雨漏り等が発生

6．中コミュニティプラザ・多可町図書館の概要

8

中コミュニティプラザ



所在地　多可町中区茂利20番地
構造　鉄筋コンクリート造　2階建て
敷地面積　4,564.9㎡
延床面積　1,452㎡
駐車場面積　1,750㎡（75台）
供用開始　昭和48年12月
部屋数等　（生涯学習関連施設のみ）
１階　事務室、談話コーナー、調理室、トイレ(1)、倉庫(2)、機械室
２階　大会議室(200人)、中会議室(30人)、和室(25帖)、トイレ(1)、倉庫(1)

多可町図書館

所在地　多可町中区糀屋434番地11
構　造　鉄筋コンクリート造　１階建て
延床面積　616.54㎡
開架スペース：400㎡
閉架書庫　：31㎡
学習室　：40㎡
供用開始　昭和54年4月
図書館開館　平成16年3月
運営体制　図書館長（１名）、職員５（うち図書館司書4名）

7．基本理念

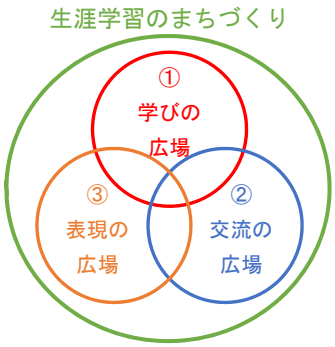
9

- 教育基本法第３条：国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
- あらゆる世代が互いに学びあい、教えあい、人がつながるまちをつくるために、学習機能の提供や活動場所の確保、学習情報の発信や学習成果を発表する機会を提供し、学習を通じて得た知識、交流の広がりをひとづくりに生かし、多様性を受け入れることができるまちづくりの拠点施設として、まちづくりプラザの理念と必要な機能を定めました。

基本理念

地域社会の中でみんなに出番があるように、
生涯にわたって知識を深めるための居場所や集える場の整備をめざす。

必要な機能



①学びの広場
図書館を中心に、学びの場を提供する機能

②交流の広場
交流スペースを中心に、語らい・つながりを創造する機能

③表現の広場
多目的ホールを中心に、学習成果を発表・表現する機能

３つの機能の調和・循環が「生涯学習のまちづくり」を実現する

8．施設規模（必要な機能・設備）①

10

①学びの広場の施設規模

区分	室名		主な内容	規模(㎡)	備考
①学びの広場	図書館	開架スペース	一般・ヤング・郷土・行政資料等 サービスカウンター／情報検索コーナー 閲覧席／静読書室／ブラウジングコーナー	775㎡	・図書9.7万冊
			児童 おはなしコーナー	255㎡	
		閉架書庫	固定式書架、集密書架併用	136㎡	・図書3万冊、新聞・雑誌バックナンバー等
		管理運営スペース	整理作業室／装備作業室／ 団体貸出事務コーナー	72㎡	
	会議室		(大) 40名程度 (中) 20名程度 (小) 15名程度	80㎡ 40㎡ 32㎡	・必要に応じて、間仕切れる機能も検討する。 ・音響・映像に優れたOA機器を備える。
	ＤＩＹ室		美術・工芸・木工など	72㎡	・洗い場・流し台を設ける。 ・作業机を設ける。
	和室		お茶・お花・着付け・踊り・軽運動など	60㎡	・置き畳等の使用も検討する。 ・茶室・水屋を設ける。
	調理室		調理台・準備室	98㎡	・3区合同行事にも活用できる広さ、機能とする。
	音楽室		コーラス・楽器・バンド	32㎡	・防音機能を設ける。
	男女共同参画コーナー		情報コーナー・事務室・相談室	32㎡	・相談室を設ける。
	多文化共生コーナー		情報コーナー・事務室・ 交流コーナー	32㎡	・相談・交流コーナーを設ける。
	自主学習室		学習室・研究室・リモートワークスペース	16㎡ 30㎡	・広狭、音の有無等いくつかのスペースを設ける。 ・リモートワーク等PC利用も可能とする。

※具体的な居室については現在検討中であり、変更される場合があります。

8．施設規模（必要な機能・設備）②

11

②交流の広場と③表現の広場の施設規模

区分	室名		主な内容	規模(㎡)	備考
②交流の広場	交流スペース		催事・展示・小規模イベント等多目的に活用 情報収集・発信コーナー 給湯・カフェスペース	317㎡	・天井を高く、明るく開放感があるスペースとする。 ・いつでも、誰でも気軽に立ち寄ることができる。 ・世代間交流ができる。 ・情報収集・発信コーナーを設ける。 ・給湯コーナーを設ける。 ・カフェスペースを設ける。
	キッズスペース	保育室	プレイルーム 託児室	81㎡	・柔らかい床、または畳敷きにする。 ・衛生面から土足厳禁にする。
		授乳室	給湯施設		・給湯施設を設ける。 ・仕切りを設ける。
	ボランティアスペース		打合せ・PC・印刷コーナー	32㎡	・各種団体の事務スペースとして利用できる。 ・PC・印刷コーナーを設ける。

区分	室名	主な内容	規模(㎡)	備考
③表現の広場	多目的ホール	200名収容 会議、研修会、発表会 演劇、ダンス、軽運動等	260㎡	・会議、研修会など学習の場、発表会など学習成果の発表の場、軽運動等多目的に使用できる。 ・大型スクリーンや音響映像設備を整える。 ・舞台は可動式とし、用途に応じて使用できる。 ・大きな鏡を備え、演劇やダンスに利用できる。 ・必要に応じて、間仕切れる機能も検討する。
	楽屋・準備室	控え・準備	24㎡	・多目的ホールの控え・準備に使用できる。

※具体的な居室については現在検討中であり、変更される場合があります。

8．施設規模（必要な機能・設備）③

12

管理・共有部分及び合計面積と付随設備

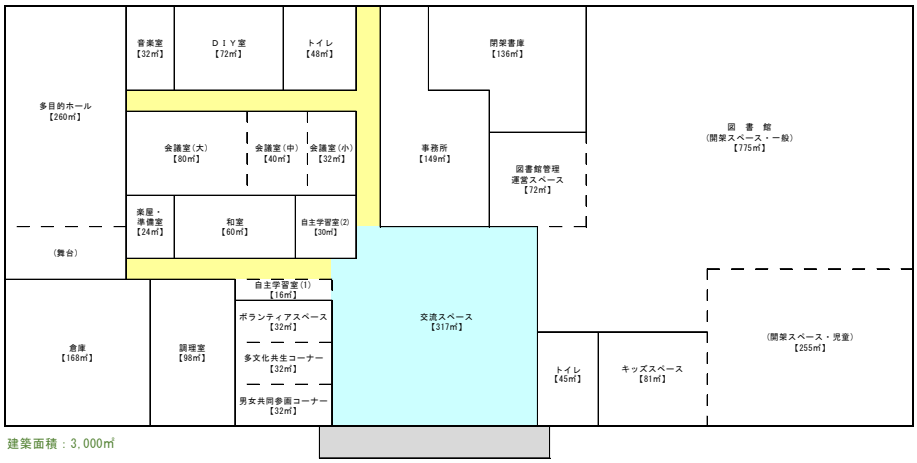
区分	室名	主な内容	規模(㎡)	備考
管理・共有部分	事務所	管理事務所 給湯室、応接室等	149㎡	・運営組織の活動スペース ・給湯室、応接室等管理業務に必要な機能を設ける。
	倉庫	倉庫	168㎡	・播州歌舞伎等の用具が収納できるスペースを設ける。
	トイレ	男性用、女性用、多機能、子供用	45㎡ 48㎡	・おむつ替えスペース、子供用トイレなど、乳幼児に必要な機能を設ける。 ・オストメイト等障がい者に必要な機能を設ける。
	廊下	廊下	114㎡	・車椅子でも往来できる広さを設ける。
施設全体の合計延床面積			**3,000㎡**	・建設事業費（概算）13億5,000万円（建設費のみ）
付随施設	駐車場・駐輪場	自動車100台程度収容		・マンホールトイレが設置できるなど、防災機能にも配慮する。
	周辺整備	広場スペース 芝生広場 スポーツ施設・遊具		・イベントやマルシェなどが開催できる、広場スペースも考慮する。 ・芝生広場など、緑化や憩いのスペースの併設も検討する。 ・スポーツ施設や遊具の併設も検討する。

※具体的な居室については現在検討中であり、変更される場合があります。

（その他の検討事項）
- 有事の際には、防災拠点、避難所となり得る機能
- フリーWi-Fiの設置等、デジタル化・情報化に対応する機能

8．施設規模（配置イメージ図）

13



※検討にあたっての配置イメージです。
具体的な施設規模や部屋の配置は、今後詳細に検討していきます。

9．建設候補地

14

- 面積・市街地機能・周辺施設との連携や相互利用・賑わいの創出を考慮し、総合的に判断。

- 健康福祉センター「アスパル」・子育てふれあいセンター・児童公園・統合中学校（予定）の中心
  ⇒現在の北アリーナの位置が望ましい

10. 生涯学習振興・まちづくりの拠点施設として

15

（生涯学習コーディネーター）

- 町内に点在する生涯学習関連施設、加美・八千代コミュニティプラザや同図書室との連携・相乗効果を図り、学ぶ意欲を支援するためには、生涯学習コーディネーターが必要ですので、配置を検討していきます。

（生涯学習を通じた持続可能な町）

- 生涯学習を通じた持続可能な町をつくるため、次世代のひとづくり・まちづくりの拠点施設として、年代を問わず町民が集い、交流し、つながり、そしてまちづくりの拠点となる仕組みづくりも検討していきます。

（愛称の公募）

- 文化会館「ベルディーホール」や健康福祉センター「アスパル」のように、町民から親しみを持って利用していただくため、愛称の公募を検討します。

11. 今後の課題と整備スケジュール

16

今後の課題

- 多くの町民に利用いただける交通アクセスの検討
- 住民団体や民間事業者のノウハウを活用するため、住民との協働による施設運営の検討

整備スケジュール

- 令和７年度の竣工を目指します。
- あくまで理想的スケジュールであり変更の可能性があります。

	令和４年度	令和５年度	令和６年度	令和７年度
設計者選定	●			
基本設計 実施設計	▭	▭		
工事監理		▭	▭	
工事発注		●		
建設工事		▭	▭	
竣工 （供用開始）				●

多可町図書館基本計画(案)

令和４年５月

多可町図書館

１．はじめに

1

計画策定の経緯

１　「多可町図書館基本計画の策定について」諮問
令和３年６月　多可町図書館 → 多可町図書館協議会

２　多可町図書館協議会において
令和３年６月～１２月　合計７回の協議会と作業部会で協議をすすめる

３　「多可町図書館基本計画の策定について」答申
令和３年１２月　多可町図書館協議会 → 多可町図書館
「多可町図書館のあり方に関する提言～基本計画（案）として～（答申）」

４　「多可町図書館基本計画（素案）」
令和４年１月　多可町図書館により答申どおりに調製

2．多可町図書館の現状①

2

（1）旧町での図書館施策と三町合併後の経過

【経緯】

平成16年３月　中町図書館開館
平成17年11月　三町合併　多可町図書館に名称改正
平成19年２月　本館・公民館分室のシステムを統合
平成21年10月　加美分室　改装のため休館（～平成22年５月）
平成22年５月　加美プラザ開館
平成22年５月　多可町図書館加美図書室・八千代図書室に名称改正
平成22年10月　八千代図書室改装のため休館（～平成23年５月）
平成23年５月　八千代プラザ開館

多可町図書館

加美図書室

八千代図書室

2．多可町図書館の現状②

3

（2）本館及び図書室の状況　　令和３年３月末

	本館	加美図書室	八千代図書室	合計
延床面積（㎡）	**616.54**	126.26	108.51	**851.31**
収容能力（冊）	80,000	20,000	18,000	118,000
蔵書冊数（冊）	126,867	24,284	23,121	**174,272**
購入冊数（冊）	3,563	912	967	5,442
貸出者数（人）	15,280	1,833	2,271	**19,384**
貸出冊数（人）	91,948	8,944	10,966	**111,858**
利用登録者数（人）	5,192	2,561	2,066	9,819

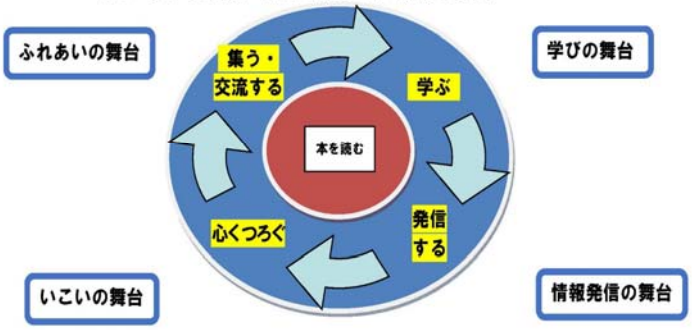
３．新しい多可町図書館の理念 ～従来の図書館像からの脱皮を～

4

新図書館は４機能をもつ生涯学習の拠点

新図書館は「本を読む」という活動を中核として、その周囲に「町民が集う・交流する、学ぶ、発信する、心くつろぐ」という多くの機能・役割をあわせもつ生涯学習の拠点であり、これまでとはまったく違うコンセプトの空間となります。

図１　多可町図書館「生涯にわたって学び続ける舞台」



４．理念実現のための図書館①

5

（１）新たな立地による幅広い利用者の獲得

①「ついでに来館」気軽な立ち寄りのできる図書館

「買い物に来たついでに立ち寄った」・「なんとなく来てみた」
「時間に余裕ができたから来た」
「特にすることがないので図書館に遊びに来た」　など
無目的に漫然と入館し、本や雑誌に触れるうちに図書館の魅力に引かれ、自分の意思で学ぼうとする利用者層が増えることが必要です。

②他の施設と連携のとれたアクセスしやすい位置に建設

行政機関や福祉施設、文化施設、商業施設の集中する地域
教育施設が集中したゾーンに移転・建設するとともに、
多くの町民の日常的な動線の中に置くことが重要です。
人を集約する仕組みづくりが必要です。

③図書室及び移動図書館としての機能

東西13km、南北27kmの町域に対し、加美・八千代図書室は、子どもや高齢者など、本館へ遠距離来館することが困難な人のために、一層の充実が必要です。
さらに、多可町図書館、加美・八千代図書室に来館等することが困難な人のために、移動図書館としての機能を整備することが重要です。

４．理念実現のための図書館②

6

（２）新図書館の特色

①町民の生活を支援し、暮らしに密着した図書館
町民のニーズを把握し、一人ひとりの要望に対応します。
電子書籍貸出システムについても導入について検討します。

②子どもや青少年を育て、学校園の図書室と図書館の連携
子どもたちが幼いころから本に親しみ、図書館のくつろいだ空間で過ごす楽しさ、本を読む楽しさを知る環境を提供します。

③高齢者を大切にし、ユニバーサルデザイン化を推進する図書館
高齢者の生きがいを育み支援する分野の本や資料を収集します。
くつろぎとゆとりのある読書・閲覧スペースを用意します。
障がい者、高齢者、子ども、子育て世代、外国人等の利用に十分配慮し、バリアフリー化をはかり、すべての人が分け隔てなく利用できる施設づくりを推進します。

④感染対策の推進
換気設備を充実し、抗菌対応の建築素材等を使用して、感染対策にも十分配慮した施設づくりを推進します。

４．理念実現のための図書館③

7

⑤町の誇りを育てる郷土資料の充実
当地域でしか入手できないものが多い郷土・地域資料を丹念に収集します。

⑥人材を育て、町内外に情報発信する図書館
多くの町民が図書館を学習の拠点として集い、郷土史や地域の産業、文化、子育てや教育などさまざまな分野で研究を進めていき、その成果を情報発信していく部門や活動を支援します。

⑦憩いの広場を持つ図書館
新しい図書館は、「くつろぐ」要素と「集う・交流する」要素をあわせもつ空間とします。

５．新図書館の規模（ハード・ソフト面）①

8

（１）施設の概要

多可町図書館の規模及び面積について（試算）

① 積算基礎
ⅰ 人口　約18,000人（令和８年 見込み）
ⅱ 蔵書　127,000冊（本館のみ）＊人口に基づき蔵書規模を算定

② 部門別
ⅰ 開架スペース（一般他）
ⅱ 開架スペース（児童）
ⅲ 閉架書庫

５．新図書館の規模（ハード・ソフト面）②

9

③ 部門別の詳細
ⅰ 開架スペース（一般他）
一般、ヤング、郷土、行政資料など70,000冊程度配架
閲覧席（個人用、４～６人用、ソファ、ﾘｸﾗｲﾆﾝｸﾞｼｰﾄなど）
新刊等展示・点字図書・新聞・雑誌・洋書・拡大読書機コーナー
資料検索・インターネット接続ブース
図書の消毒除菌装置、カウンター、問い合わせ受付コーナーなど
ⅱ 開架スペース（児童）
児童書、絵本、紙芝居など27,000冊程度配架
閲覧席（個人用、４～６人用、親子席など）
新刊等展示コーナー、子どもの遊べる防音スタジオ
（おはなしコーナーなど）、布絵本・布おもちゃコーナーなど
ⅲ 閉架書庫
固定式書架・集密書架併用（約30,000冊分）
ⅳ 管理・運営スペース
事務室、作業室（職員用、現地装備スタッフ用）、休憩コーナー
ロッカー室、保管庫、収納スペースなど

５．新図書館の規模（ハード・ソフト面）③

10

（２）蔵書の詳細

① 蔵書冊数
本館：127,000冊（うち、開架冊数約97,000冊）
図書室：各20,000冊

② 開架に占める新規図書の割合　約1割

③ 資料費　10,000,000円

④ 雑誌受入種数　92種

⑤ 新聞受入種数　9種

⑥ 蔵書に占める児童書の割合　25～30％

⑦ 郷土資料　非売品も含めて多可町に関する資料の収集に努めます。

（３）図書館サービス各部門（閲覧・貸出、読書相談、レファレンスなど）

① 貸出と読書相談サービス
すべての町民に対する貸出サービスと読書相談
リクエストサービス（予約と購入）
県立図書館・他市町立図書館との相互貸借及び情報収集

② 乳幼児とその保護者、児童サービス
おはなし会等読書の動機づけのための活動
紙芝居や人形劇などの催し、学校図書室との連携

③ 高齢者、障がい者サービス
点字図書、大活字本、録音図書、デイジー図書等の整備・提供
対面朗読の実施、本の宅配サービス（福祉施策との連携）

５．新図書館の規模（ハード・ソフト面）④

11

④ 町民の調査・研究への援助
レファレンスサービス
参考図書の収集、整理、提供、コピーサービス

⑤ ビジネス支援サービス
ビジネスに関する資料の収集、整理、提供
専門資料の情報収集、利用相談業務、
商工会その他関係団体との連携

⑥ 郷土資料・行政資料サービス
町及び地域資料の収集、整理、提供
行政資料の積極的な提供
専門資料の情報収集、利用相談業務
那珂ふれあい館その他関係団体との連携

⑦ インターネットサービス
レファレンスの受付、回答
利用者用インターネット端末の設置
ホームページによる情報発信
蔵書の検索機能充実
電子資料およびオンラインデータベース利用環境の整備
無料Wi-Fi機能の整備